

魔王を倒した勇者が
王女を寝取る

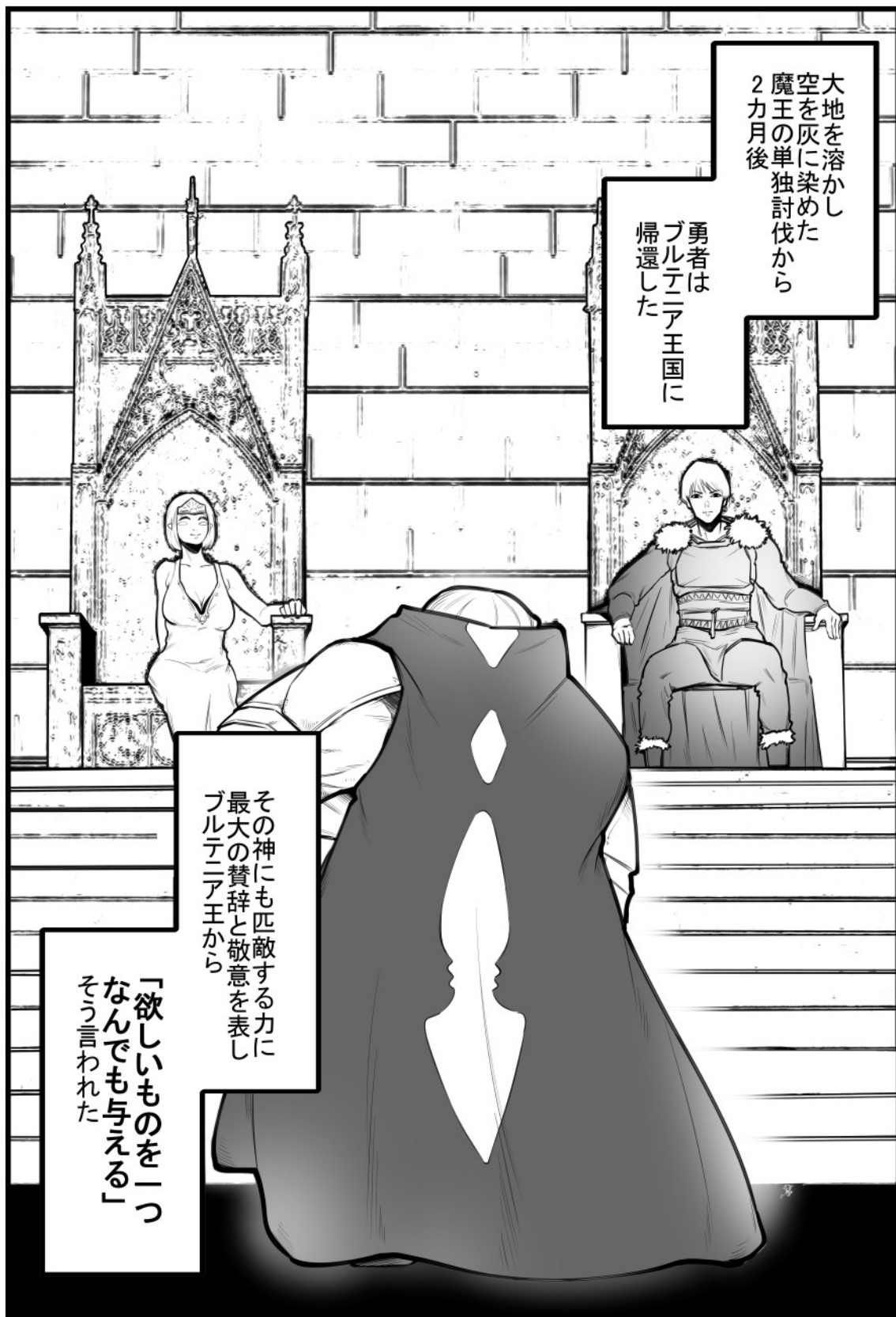


大地を溶かし
空を灰に染めた
魔王の単独討伐から
2カ月後

勇者は
ブルテニア王国に
帰還した

その神にも匹敵する力に
最大の賛辞と敬意を表し
ブルテニア王から

「欲しいものを一つ
なんでも与える」
そう言われた



勇者は瞬時に答える
「王妃を頂きたい」と…

騒然とする玉座の間

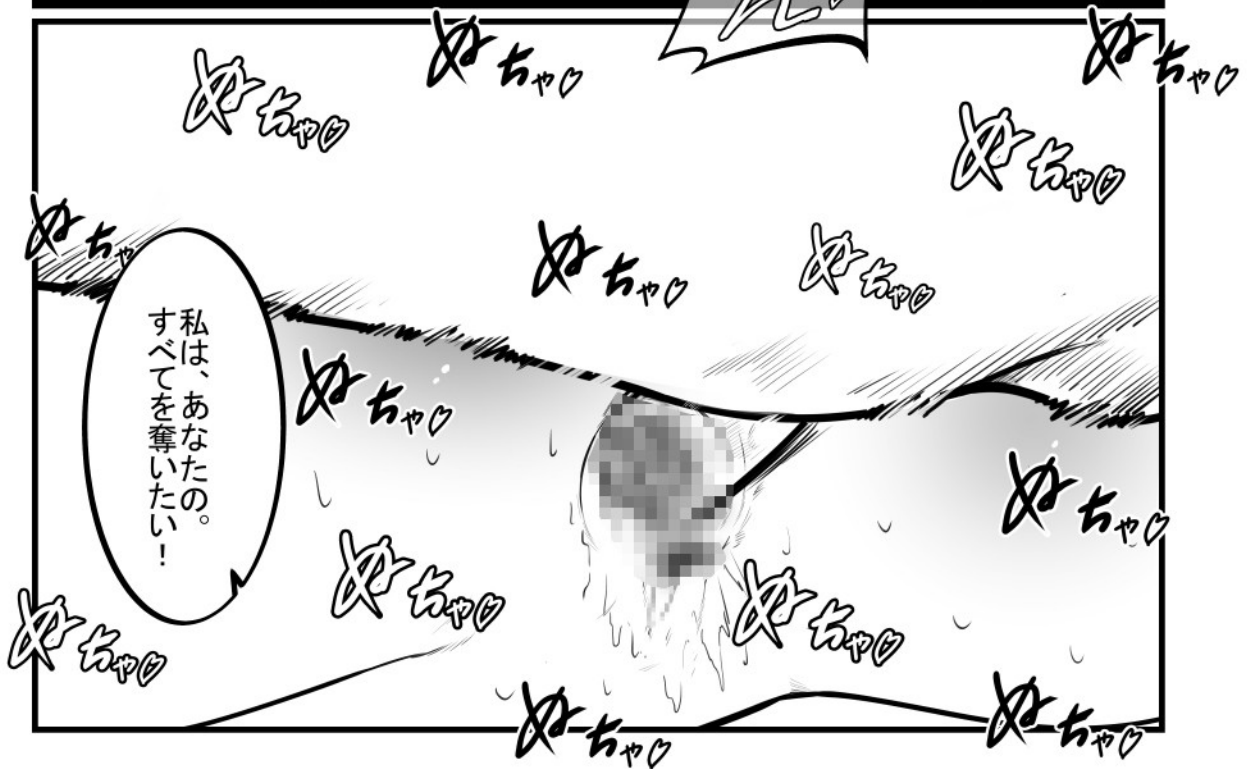
言葉を失う王妃

深く考え込む国王

長い沈黙の後、
その要望が了承された。







1カ月後

勇者殿よ…頼む。
抱いてくれ

少しでいいのだ

先っぽだけでも…

ふふっ
それは、女性のセリフでは
ありませんよ(笑)

性処理玩具

勇者様専用

あの熱い夜から
1週間毎晩抱かれた
王妃は2週間の
お預けを喰らっていた



勇者の言ったとおりに
右尻には勇者様の名前を刻み

左尻には、私の生涯の身分を
刻み込みました

もう、とても
我慢ができない！

勇者様専用

性処理玩具

どうせもとは戻れない。
だからすべてを受け入れよう……

勇者のすべてを受け入れたい

キュン

キュン



では、奴隷契約を
結びましょう

はいっ！

これで、完全に
私のモノに
出来ます…

すぐに奴隷に
堕としてください

堕として
抱いてください！

さら1カ月後

勇者様専用の穴に
なりたいのです！

勇者様！
今日も卑猥な雌豚の
牝をお願いいたします。



勇者様のモノに
なれて嬉しい

快樂だけを求めて
生きていくだけ

それが一番幸せだ





勇者、勇者、勇者、
私の勇者様

勇者様のたくましいチンポが
子宮にぶつかって
全身がよろこんでおります。

もっと、
もっとお願いします。
勇者様

怒りを通り越し
全てを諦めた王は
無言で元妻を見ながら
自慰行為にふける

その姿を見て
さらに勇者は絶頂にいたった